

令和8年度いみず学生アイデアコンテスト 課題一覧

No.	課題	課題の概要	提案に期待すること	関係機関、関係者等	その他参考情報	担当課	連絡先
1	小杉駅周辺地区の賑わい創出について 	<p>■現状 本市の陸の玄関口である「あいの風とやま鉄道小杉駅」の周辺地区は高等学校や高等教育機関が立地し、通学経路として多くの学生に利用されていますが、駅を通学のために利用する学生が多い状況です。また、祝休日の駅や周辺エリアの利用が少ないことも課題となっています。</p> <p>■解決したい課題 ・居心地がよく歩きたくなるまちを形作る店舗・施設・空間を増やしたい ・祝休日に市内外から駅周辺（特に駅北エリア）へ訪れる人を継続的に増やしたい</p>	<p>・学生が運営に関わり、学生が寄り道したくなる店舗（チャレンジショップ）の企画・運営 ・様々な世代が訪れ、滞在したくなる空間の企画・運営 ・地域を巻き込んで交流できるような学生主体のイベントの企画・運営 ※市内外への情報発信も積極的に実施してほしい</p>	<p>・小杉まちづくり協議会（地域のまちづくり団体です。小杉駅周辺地区で実施しているイベント等との連携について相談できます。） ・射水市政策推進課</p>	<p>■過去の提案（実証実験一例） R5年度：公共スペースでの古本市の開催 R7年度：ペットと交流できるイベントの開催 ■射水市では駅周辺地区のまちづくりの方向性を「小杉駅周辺地区まちづくり基本構想」としてまとめ、市HPで公開しています。</p>	都市計画課 駅周辺まちづくり推進班	(TEL) 0766-51-6680 (mail) toshi@city.imizu.lg.jp
2	日本人と外国人とが交流する機会の創出について 	<p>■現状 本市は、人口に占める外国人の割合が県内で最も高く、今後増加が見込まれることから、日本人と外国人が互いの文化や価値観の違いを認め合い、地域の一員として共に暮らしやすい地域づくりを進めていく必要があります。 多文化共生に関する講演会や多文化交流イベント「LINK PARK」、地域住民同士の交流を図る「多文化共生まちづくり交流会」などを開催していますが、さらなる交流を深めていくことが求められています。</p> <p>■解決したい課題 ・外国人住民と地域のつながりや、双方向の交流の機会を増やしたい。</p>	<p>・多くの日本人と外国人とが集まり、互いに交流を図ることができるイベント等の企画・開催や取組の実施（文化発表や講演などの一方的なものではなく、話をしたり、一緒に何かをしたりといった取組） ・射水まちづくりネットワーク（市民協働のまちづくりを推進するために様々な活動を行っている団体。R4年度から、多文化交流イベントLINK PARKを実施している。）</p>	<p>■過去のイベント実施状況 ・LINK PARK R4～R7年度：歌の森運動公園での開催 ・多文化共生まちづくり交流会 R4年度：日本の伝統的な遊びを使った交流 R5年度：パキスタンカレーを食べながらの交流 R6年度：和太鼓演奏、ゲームでの交流</p>	市民活躍・文化課 交流促進係	(TEL) 0766-51-6622 (mail) shiminbunka@city.imizu.lg.jp	
3	給水アプリ「mymizu」を活用したマイボトル運動の推進について 	<p>■現状 ペットボトルは、軽くて持ち運びにも便利である反面、製造、運搬、販売、リサイクルの過程において多くの資源とエネルギーを使い二酸化炭素を排出しており、地球温暖化へ影響を与えています。また、海に流れたプラスチックごみが引き起こす海洋問題も発生しています。マイボトルの利用を促し、ペットボトル使用量の削減を目指していますが、マイボトルの普及が進んでいません。 射水市では令和7年度に市庁舎や体育館など市内7か所の公共施設に無料で利用できる水道直結型の給水器「いみず いみず ウォーターサーバー」を設置しました。令和8年度は、給水アプリ「mymizu」に参画予定で、市内の飲食店等にも参画していただきたいと考えています。</p> <p>■解決したい課題 ・マイボトルに給水できる場所を増やし、地域住民に周知したい ・「mymizu」に参画する市内飲食店等を増やしたい ・特に若者に対して、ペットボトル飲料の購入ではなくマイボトルを持参するよう働きかけたい</p>	<p>給水アプリ「mymizu」を活用し、プラスチックごみ削減とライフスタイル変革の機会とし、マイボトル運動を推進するための企画や取組を提案してください。 【期待する取組】 ・給水アプリ「mymizu」を活用したイベントの開催 ・「mymizu」に参画する飲食店等を増やすための取組 ・「いみず いみず ウォーターサーバー」の周知のための取組 ・マイボトルを利用することがカッコいいと思われるようなPR動画の制作 など</p>	<p>■いみず いみず ウォーターサーバー <a href="https://www.city.imizu.toyama.jp/vent-topics/svTopiDtl.aspx?servno=30909">https://www.city.imizu.toyama.jp/vent-topics/svTopiDtl.aspx?servno=30909</a> ■給水アプリ「mymizu」 <a href="https://www.mymizu.co/">https://www.mymizu.co/</a></p>	環境課 ゼロカーボン推進係	(TEL) 0766-51-6624 (mail) kankyou@city.imizu.lg.jp	

令和8年度いみず学生アイデアコンテスト 課題一覧

No.	課題	課題の概要	提案に期待すること	関係機関、関係者等	その他参考情報	担当課	連絡先
4	市公式Vチューバー「いみず雫」を活用した市内外への魅力発信 	<p>■現状 人口減少時代において、持続可能なまちづくりを進めていくためには、本市に暮らす人だけでなく、市外に暮らしながらも本市と関わりを持つ人（関係人口）を増やすことが重要であると考えています。 市では、射水市の知名度向上、魅力発信のため、市公式Vチューバー「いみず雫」が射水市の知られざる魅力を全国に発信し、射水市ファンの拡大を目指していますが、雫の認知度は伸び悩んでおり、「いみず雫」を更に活用する取組が必要と感じています。</p> <p>■解決したい課題 ・シビックプライド（射水市に誇りを持ち、射水市を良くするために貢献しようとする自負心）の醸成に役立てたい ・市外の人にも射水市のことを知ってもらおうきっかけとして、「いみず雫」の認知度を向上させたい ・射水市の魅力を伝えるコンテンツとしてYouTube配信内容をブラッシュアップし、「いみず雫」のチャンネルを広めたい</p>	<p>・YouTube配信の企画（1本分） ※9月下旬～10月上旬収録、11月配信予定 ※雫の声や動きは、射水ケーブルネットワークで行う。 ・「いみず雫」を活用した新たな取組の提案 ※雫の声や動きは、提案者で行う。機器の貸出等はなし。</p>	<p>・射水ケーブルネットワーク（配信映像の制作会社。YouTube制作を担っている。） ・合同会社アルパクロウ（いみず雫の生みの親である稲垣さんの所属する会社。雫に関する企画について許可取りが必要な場合、許可取りは未来創造課がサポートします。）</p>	<p>いみず雫に関する市の取組 ・YouTube配信（5分程度）年5回 ・ショート動画（30秒）年3回 <a href="https://www.youtube.com/imizucityofficial8319">https://www.youtube.com/imizucityofficial8319</a> ・Instagram <a href="https://www.instagram.com/imizushizuku">instagram.com/imizushizuku</a> ・LINEスタンプの販売</p>	未来創造課 広報・統計係	(TEL) 0766-51-6614  (mail) mirai@city.imizu.lg.jp
5	クルーズ船観光客への射水市の魅力発信と地域参加型のおもてなしの仕組みづくり 	<p>■現状 外国クルーズ船「アザマラ・パシュート」が9月に海王岸壁（海王丸パーク付近）に寄港予定です。観光客に向けて射水市の魅力を伝えるおもてなしを実施したいと考えています。</p> <p>■解決したい課題 ・クルーズ船の観光客に射水市の認知度を向上させ、寄港地消費を促す仕組みづくりができていない。 ・射水市民にクルーズ船が来ることを広く知ってもらい、地域全体で受け入れられる機運を高めたい。</p>	<p>・若者が「クルーズ船を見に行きたくなる」仕掛けづくり ・海外観光客に射水市の魅力が伝わる体験やイベント ・クルーズ船寄港をきっかけに地域と観光客が交流できる仕組み ※クルーズ船や海外という観点だけでなく、自由な発想で提案してください。</p>	<p>・富山県国際観光課、富山県港湾課、富山新港管理局（イベントや取組の提案については、事前に相談が必要です。河川・港湾課がサポートします。）</p>	<p>■昨年アザマラパシュートが寄港した際には、富山高専の学生と海王丸見学会を実施しました。 ■天候や船社の状況により、寄港しない場合があります。</p>	河川・港湾課 みなとまちづくり係	(TEL) 0766-51-6684  (mail) kasen-kouwan@city.imizu.lg.jp
6	海老江海浜公園を「未来の海辺の遊び場」に！ 	<p>■現状 海老江海浜公園は年間約13万人が訪れる魅力的なスポットです。市としても、この公園をさらに多くの人々に活用してもらい、地域の魅力を高めていきたいと考えています。学生の皆さんの柔軟な発想をいかし、この場所の魅力を発信し、新たな利活用についてぜひ企画・提案してください。</p> <p>■解決したい課題 ・夏場の若者の利用者を増やし、海老江海浜公園のファンを増やすことで、年齢を重ねても訪れたい場所としたい ・地域の人が愛着を持ち、日常の中で足を運ぶような海岸としたい</p>	<p>・若者がワクワクするよう海老江海浜公園でしかできない「海辺の遊び場」となるようなイベントの開催 ・地域の方が海老江海浜公園の新たな魅力を発見できるような取組の実施 ・地域の回遊性向上につながるような取組</p>	<p>・富山県港湾課、高岡土木センター（イベントや取組の提案について、許可が必要です。許可取りは河川・港湾課がサポートします。） ・海老江自治会（海老江海浜公園周辺の住民に対して、周知にご協力いただけます。）</p>	<p>■利用実績 ・いみずUBP(ユニバーサルビーチプロジェクト) (<a href="https://www.instagram.com/imizubp/">https://www.instagram.com/imizubp/</a>) ■過去の提案 R7年度：「ワクワク！海老江海浜公園ビーチクリーン大作戦」</p>		